

戦争法案反対

パリでも集会



29日、パリで「戦争法案反対」「アベ政治を許さない」などのプラカードを掲げ、戦争法案に抗議する在仏日本人ら(島崎桂撮影)

日本の行動に呼応

集会を呼び掛けたのは、韓国人で徴兵拒否のためフランスに亡命中のイ・イエダさん(24)。イさんはこれまで日本で開かれた秘密保護法に関する学習会で講演したほか、最近ではSEALDs(シールズ=自由と民主主義のための学生緊急行動)などと協力

【パリ=島崎桂】フランス・パリのエッフェル塔にほど近いトロカデロ広場で29日、安倍政権が進める戦争法案の撤回を求める集会が開かれました。30日に日本全国で取り組まれた「8・30大行動」に呼応したもので、在仏日本人やフランス人ら約40人が参加。「戦争する国」づくりに対する在外日本人の不安の強まりを示しました。

8/31 五社

し、戦争法案廃案に向けた取り組みが続いています。パリでの集会でイさんは、「韓国はこれまでに、米国との良好な関係を保つただけに、ベトナムやイラク、アフガニスタンに派兵し

た。国を守る明確な基準が無いと、いつでも戦争に巻き込まれるという好例だ」と指摘。戦争法案と集団的自衛権の行使に基づく、日本の際限ない戦争参加に懸念を示しました。参加した日本人は、「(法案撤回に向けて)外国から出来ることもたくさんあるはず」「他の日本人にも、法案の危険性を伝えてい

きたい」などと発言。通行人や観光客に戦争法案の実態を知らせるピラを配布し、法案撤回を求める署名を呼び掛けました。参加者は、今後も継続的に戦争法案反対の運動を強めていくことを確認しました。同様の集会は、ベルギーやドイツ、英国など欧州各国で計画されています。